



二足歩行
ロボットを
作るよ



2024年
5月25日(土)

工学部 機械システム工学科
教授 衣笠 哲也

重力だけを利用して歩く二足歩行ロボット?!

一歩行ロボットをつかって「生物の動くしくみ」を理解しよう

現地集合

牛窓諸島を
船で回ろう!



2025年
3月22日(土)

副学長 学生支援機構長
生物地球学部 生物地球学科
教授 富岡 直人

瀬戸内海が汽水湖だった頃
縄文時代のはじまりの牛窓

3回参加で
修了証を
発行します

子供も大人も大歓迎!

岡山理科大学 市民公開講座

山の寺子屋で学ぼう!

時間 13時30分～15時

会場 本学(一部現地集合)

参加費 無料(予約制・先着順です)

講座情報、参加申し込み方法は
右記 QR コードからご確認ください。



カメを
探そう?



6月15日(土)

生物地球学部 生物地球学科
教授 亀崎 直樹
たかがカメといって
馬鹿にするなかれ

海のカケラを
探る



12月7日(土)

基盤教育センター
准教授 佐藤 友彦
大陸の中心で失われた
海洋の記録を探る

不思議な
世界へ



7月13日(土)

生命科学部 生物科学科
准教授 濱田 隆宏

植物の「ちょっと不思議な世界」
～植物が持つ不思議な能力と生存戦略～

4次元宇宙
シアター



11月2日(土)

生物地球学部 生物地球学科
准教授 本田 充彦
惑星形成現場を見る
～46億年前の太陽系の姿～

現地集合

現場見学
あります



8月10日(土)

工学部 建築学科
准教授 弥田 俊男

これからの時代にふさわしい
岡山駅前広場のリニューアルデザイン

ロボドリル



9月28日(土)

工作センター センター長
工学部 機械システム工学科
准教授 寺野 元規

ものづくり体験!～コインのつくり方今・昔～

今年も
やります

ぶら理大
します



10月5日(土)

古生物学・年代学研究センター 恐竜学博物館
館長 石垣 忍

ぶらぶら回る地球史の名所

主催:岡山理科大学

後援:岡山市、倉敷市、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会



お問い合わせ
窓口

岡山理科大学 研究・社会連携部

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1

TEL:086-256-9731

E-mail:renkei@ous.ac.jp

https://renkei.office.ous.ac.jp/



岡山理科大学
ホームページ

講座内容

2024年5月25日(土)

募集人数
30人

重力だけを利用して歩く二足歩行ロボット?!

一歩行ロボットをつくって「生物の動くしくみ」を理解しよう

二足歩行ロボットを開発するのはとても難しいのですが、じつは、モータもセンサも無しで歩くロボットをつくることができます。重力を巧く利用しながら歩くロボットを題材に二足歩行のしくみに迫ります。また、いろいろなロボットをつくることで生物のしくみを理解するというロボット学の考え方について紹介します。体験コーナーでは、実際に簡単な二足歩行ロボットをつくって歩行実験をしていただきます。



2024年6月15日(土)

募集人数
30人

たかがカメといって
馬鹿にするなかれ

皆さんは、最近、川を覗いたことがあるだろうか？ ミシシippアカミミガメやクサガメが沢山いる。昔はこんなにカメはいなかった。外来種だからだ。カメが増えたなら、何らかの影響が生態系にあるはずだ。一方でウミガメ。アオウミガメが増加して、藻場がなくなる現象が各地で起きている。藻場がなくなると魚がいなくなる。この講座ではそんなカメの現状を学び、そして実際に川でカメを捕獲し、水の中がどのようなになっているのか観察する。



2024年7月13日(土)

募集人数
30人

植物の「ちょっと不思議な世界」
～植物が持つ不思議な能力と生存戦略～

植物は私たちの生活に必要な不可欠な資源であり、人間は植物なしでは生きていけません。また古来より日本人は四季の移り変わりを植物を通じて感じ取り、植物を愛でてきました。私たちの傍に常々居るのが植物ですが、実は彼らには人間にはない優れた感覚があり、「したたか」に様々な生存戦略を駆使していることをご存知でしょうか？ 植物が持つ不思議な能力、そしてその生存戦略について、ご紹介いたします。



2024年8月10日(土)

募集人数
30人

これからの時代にふさわしい
岡山駅前広場のリニューアルデザイン

現地集合

岡山の玄関口となる岡山駅東口駅前広場で、路面電車の乗り入れを契機とした広場全体のリニューアルデザインが進められています。その1期工事として、新たなタクシー乗降場が2023年12月に完成しました。「岡山らしさ」が感じられる統一したデザインコンセプトで駅前広場を整理し、これからの岡山にふさわしい「人が主役」の駅前広場空間の創出に取り組んでいます。岡山駅前広場にある様々な制約条件を逆に活かした、デザインのアイデアと工夫をお話します。



2024年9月28日(土)

募集人数
15人

ものづくり体験！
～コインのつくり方今・昔～

普段使っているコイン(硬貨)はどのように作られているのでしょうか。記念コインつくり体験を通してコイン製造方法を説明します。また、レーザによる加工体験も行います。安全確保のため、長袖・長ズボン・運動靴(サンダル・ハイヒールは禁止)、かつ、汚れても良い服装でご来場ください。



2024年10月5日(土)

募集人数
30人

ぶらぶら回る地球史の名所

岡山理大構内にある、地球史を語る名所をぶらぶら歩いてめぐります。恐竜時代からの生き残り植物、石材の中の化石、深海の堆積岩の露頭などなどいつも見ているものなのに、実は驚きの秘密がいっぱい。NHKの人気番組のように「ぶら理大」してみましょう。時間のある方は恐竜学博物館の見学もどうぞ。

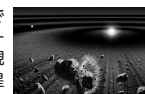


2024年11月2日(土)

募集人数
30人

惑星形成現場を見る
～46億年前の太陽系の姿～

惑星系・太陽系はどのようにできたのでしょうか？ この問いへの様々なアプローチが存在しますが、その方法の一つは現在形成中の若い星の周りに存在する惑星形成現場である原始惑星系円盤を見ることです。すばる望遠鏡やALMA等の高空間解像度観測施設稼働により、惑星形成現場の詳細観測が可能となり、原始惑星系円盤での惑星形成の様子が見えてきました。今回は、ここ20年ほどの研究の歩みを概観し、30m望遠鏡(TMT)計画などの将来計画などについても紹介したいと思います。



2024年12月7日(土)

募集人数
30人

大陸の中心で失われた
海洋の記録を探す

大陸の真ん中にあるモンゴルの草原には、過去の遠洋海底で堆積した岩石「チャート」が眠っています。なぜモンゴルにそんな「海のカケラ」があるのか、チャートから過去のどんな地球環境を解読することができるのか、モンゴルだけでなくイギリスや日本など世界各地のチャートを観察・比較しながら、一緒に探りましょう。



2025年3月22日(土)

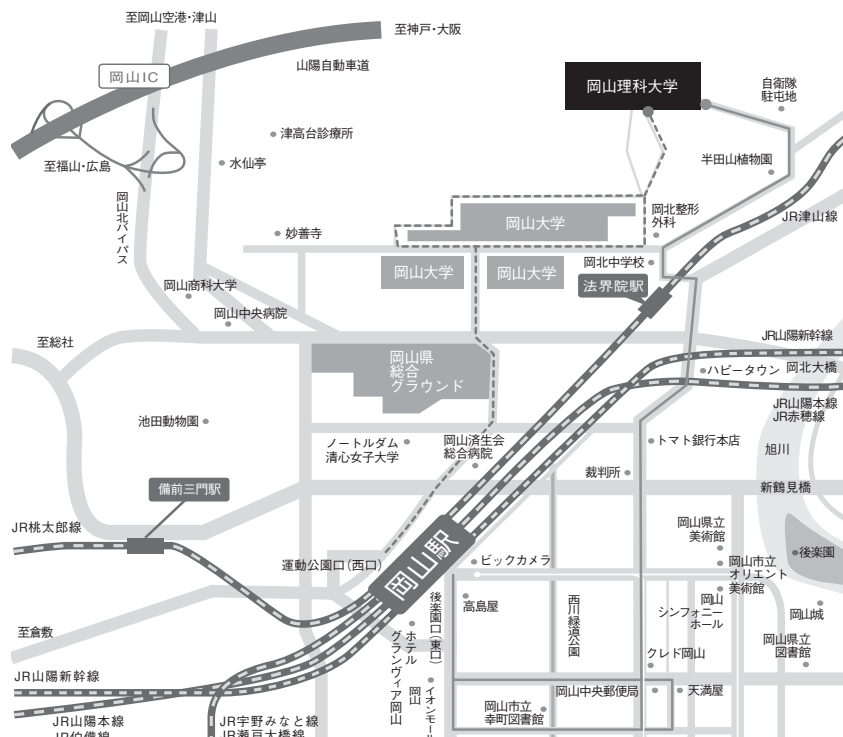
募集人数
30人

瀬戸内海が汽水湖だった頃
縄文時代のはじまりの牛窓

瀬戸内海がなかった時代から、汽水湖時代、さらに内海となった環境の変遷と人々の暮らしの変化について時系列に従って講演します。さらに牛窓海に船で乗り出し、前島・黒島・黄島・青島という島々を巡りながら、それぞれの島の歴史性を空間的特徴に従って解説を行います。



アクセス



[路線バス]

--- 運動公園口(西口)⇄岡山理科大学
--- 後楽園口(東口)⇄岡山理科大学東門

- 正門着: JR岡山駅 運動公園口(西口)22番乗り場から岡電バス「47 岡山理科大学」行で約20分
- 東門着: JR岡山駅 後楽園口(東口)13番乗り場から岡電バス「37 岡山理科大学東門」行で約30分
- JR法界院駅から徒歩約20分
- 岡山インターチェンジから車で約15分

バス時刻表はこちらから▼

